

日向市地域公共交通総合連携計画

平成20年9月

日向市

【目 次】

1. はじめに	・・・ P 1
2. 日向市における公共交通の現状と課題	・・・ P 2
(1) 生活交通路線バス	
(2) ふれあい福祉バス（ぷらっとバス）	
(3) 多機能型移送サービス	
3. 公共交通体系の基本的な方針	・・・ P 6
4. 地域公共交通総合連携計画の区域	・・・ P 6
5. 地域公共交通総合連携計画の目標	・・・ P 7
6. 事業の概要及び実施主体	・・・ P 8
(1) 市街地	
(2) 東郷地域・南部地域・細島地域	
7. 計画期間	・・・ P 11

1. はじめに

地方バス路線は、地域住民にとって、通勤、通学、通院などの日常生活に密着した交通手段であり、特に自ら交通手段を持たない高齢者や学生、障がい者などにとっては必要不可欠な公共交通機関であります。

しかし、マイカーの普及や少子高齢化などにより利用者が減少し、採算性の向上のため、バス事業者による運行回数の減便や路線廃止が行なわれ、市民の生活交通手段の確保は重要な課題となっています。

このような中、国においては、平成 19 年 10 月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が施行され、地域にとって最適な公共交通のあり方について、地域の関係者が総合的に検討し合意形成を図ることにより、地域公共交通の活性化を推進することとしました。

また、宮崎県においても、平成 18 年度に「地域バス再編支援事業」を開始し、地域の実情に応じた公共交通システムの導入を促進しています。

日向市では、バス事業者への補助金により路線維持に努めていますが、財政状況が厳しい中、バス事業者の赤字解消は難しい状況であり、路線バスやコミュニティバスの見直しを含め、地域の実情に応じた新しい交通システムの構築が求められています。

そのため、バス対策を日向市の重点施策として位置づけ、平成 19 年度から「地域生活交通対策事業」を開始し、バス路線維持対策としてバス事業者への補助金の交付のほか、現在運行中のふれあい福祉バス（以下ふらっとバス）の見直しを含めた新しい交通システムの導入について、国、事業者、市民代表を交えた「日向市地域公共交通会議」、市民の各団体の代表で構成する「日向市市民バス検討委員会」、庁内関係課で構成する「新交通システム導入検討プロジェクトチーム」を設置し、検討を行なってきました。

今回、上記法律とともに発出された「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針」や日向市市民バス検討委員会の「日向市における新しい交通システム導入に関する提言書」を踏まえ、市民の生活交通手段の確保及び交通空白地域、交通不便地域の解消を目的に「日向市地域公共交通総合連携計画」を策定しました。

2. 日向市における公共交通の現状と課題

日向市の公共交通機関としては、主に路線バスとJRがあり、住民の生活交通手段として広く利用されています。

しかし、日向市のバス路線は、平成18年4月、宮崎交通㈱の経営再建に伴うダイヤ改正により日向市管内の路線が半減し(減少率52.4%)、また、同年6月には同管内3路線(「ロックタウン日向～神門線」、「ロックタウン日向～西郷温泉経由～塚原線」、「延岡～日向病院経由～東細島線」)について廃止の申し出が行なわれるなど、自ら交通手段を持たない高齢者や学生、障がい者などの生活交通手段の確保は重要な課題となっています。

市街地については、コミュニティバスとしてぷらっとバスが運行していますが、導入から6年が経ち、運行形態や路線の見直しが求められています。

南部地域については、平成18年4月のダイヤ改正によりロックタウン日向～高鍋線が1日15往復から1往復へ、東郷地域については神門線、塚原線が減便され、特に神門線については、日向市からの午前中の便がなくなるなど住民へ大きな影響が出ました。

鉄道については、南北にJR日豊本線が縦断しており、平成18年12月に新日向市駅及び連続立体交差事業が完成し、日向入郷圏域の交流拠点となるまちづくりが進められています。しかし、県境をまたぐ大分～延岡間の整備が遅れており、住民の利便性向上のため高速化や新型車両の導入等の早急な整備が望まれています。

● 日向市の公共交通体系

- <ぷらっとバス>：日向市駅東口を発着場とし、最大乗車定員48人(座席数17のうち車椅子席数が1)のバス2台で、日向市中心部を循環する東西南北4系統を運行している。
- <宮崎交通バス>：現在16系統を運行中で、うち7系統に対して市が補助金を交付している。
- <乗合タクシー>：東郷地区において、概ね65歳以上を対象に、ジャンボタクシー1台で運行している。運営は日向市社会福祉協議会で、H19～20年度中の試験運行となっている。
- < J R >：日向市内にはJR日豊本線が通過しており、1日の運行本数は、上下線共に特急16本、普通18本である。
- < そ の 他 >：各病院の送迎バス、スクールタクシーなど

(1) 生活交通路線バス

平成19年度は宮崎交通が16系統を運行していますが、日向市では補助金によりバス路線維持に努めており、7系統へ市の補助金を交付しています。また、廃止された路線の代替バスとして、宮崎交通と宮交タクシーへ1系統を運行委託しています。

マイカーの普及等により利用者が減少している中、バス対策にかかる費用は年々増加しており、バス路線の維持が大きな課題となっています。

生活交通バス路線の更なる廃止・縮減については、市民の生活に大きな影響を及ぼすことから、バス路線を維持するためにも、運行形態の見直しや利用促進対策を推進する必要があります。

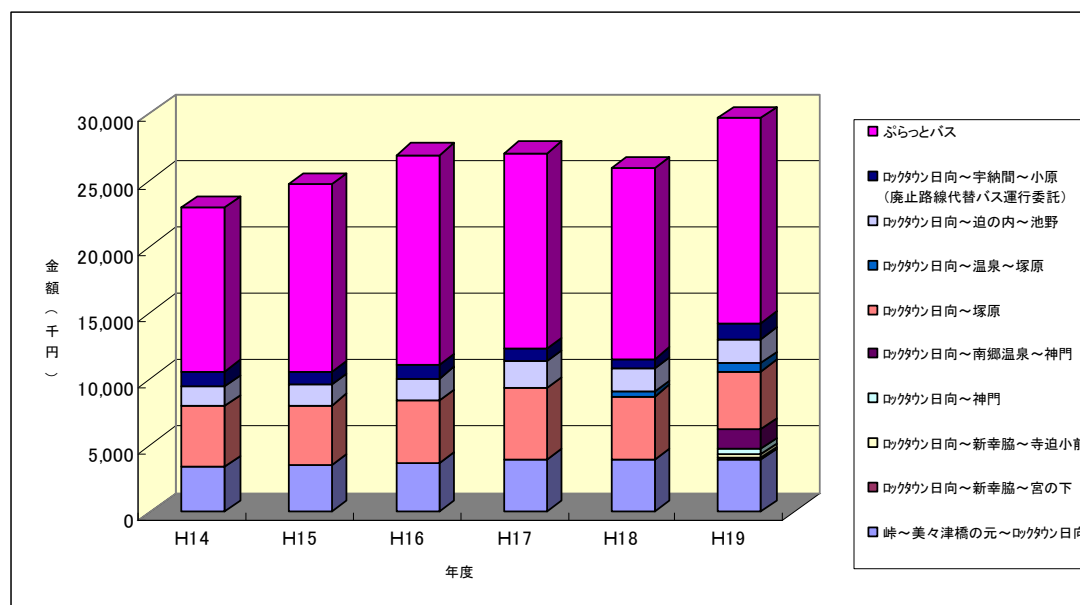
●平成19年度日向管内路線と補助額

平成19年度日向管内路線		H18ダイヤ改正 便数(片道0.5)	H18補助額 (日向市)	H19補助額 (日向市)	関係市町村			
1	延岡～原町～東細島	6.5 ⇒ 4.5			延岡市	門川町	日向市	
2	ロックタウン日向～塚原	5.5 ⇒ 4	4,738,000	4,388,000	日向市	美郷町	諸塚村	
3	ロックタウン日向～西郷温泉～塚原	2.5 ⇒ 1	292,000	612,000	日向市	美郷町	諸塚村	
4	ロックタウン日向～南郷温泉～神門	6.5 ⇒ 4		1,439,000	日向市	美郷町		
5	ロックタウン日向～神門			485,000	日向市	美郷町		
6	ロックタウン日向～原町～延岡	9.5 ⇒ 6.5			延岡市	門川町	日向市	
7	延岡～日向病院～東細島	4 ⇒ 0.5			延岡市	門川町	日向市	
8	ロックタウン日向～新幸脇・美々津駅～高鍋	15 ⇒ 1			日向市	都農町	川南町	高鍋町
9	ロックタウン日向～温泉～新幸脇～美々津駅	2 ⇒ 5			日向市			
10	峠～美々津駅～橋の元～ロックタウン日向	1.5 ⇒ 1.5	3,998,000	3,910,000	日向市			
11	延岡～日向高校	4.5 ⇒ 1			延岡市	門川町	日向市	
12	ロックタウン日向～寺迫小前(美々津駅～寺迫小前を補助)	0 ⇒ 3		408,000	日向市			
13	延岡～ヶ岡～ロックタウン日向	1 ⇒ 0.5			延岡市	門川町	日向市	
14	ロックタウン日向～迫の内～池野	1 ⇒ 1	1,780,000	1,797,000	日向市			
15	ロックタウン日向～ヶ岡～レーヨン	2 ⇒ 2			延岡市	門川町	日向市	
16	ロックタウン日向～延岡～レーヨン	2 ⇒ 1			延岡市	門川町	日向市	
計			10,808,000	13,039,000				

※「ロックタウン日向～南郷温泉～神門」「ロックタウン日向～神門」「ロックタウン日向～寺迫小前」は、平成19年度前期分(H19.4～10)

廃止路線代替バス運行委託		便数	日向市	日向市	関係市町村		
1	ロックタウン日向～宇納間～小原委託先(宮崎交通・宮交タクシー)	4 ⇒ 4	752,000	931,000	日向市	門川町	美郷町

●日向市のバス対策補助金・委託料の推移



(2) ぷらっとバス（市街地）

ぷらっとバスについては、平成14年4月の運行開始以来6年が経ち、年間利用者は増加傾向にありますが、1便あたりの利用者で見ると3人程度と低い水準に留まっており、利用促進対策が重要となっています。

また、東西南北4路線を1時間で運行していますが、目的地までの乗車時間が長く、運行時間の短縮、路線の見直しとともに、市民アンケート調査では、利用方法がわからない、ルートがわからないなどの意見が多く、積極的なPR活動が必要です。

その他、市街地以外（東郷地域や南部地域）からも運行の要望があがっており、バス路線を含めた市全域での見直しが必要となっています。

【ぷらっとバス概要】

- 路線 日向市駅東口を発着に、東西南北4路線を運行。1路線5便（7:30～17:30）
- 運賃 大人200円 子供・障がい者100円
- 車両 48人乗り小型低床ワンステップバス 2台
- 運行形態 タクシー事業者へ委託



●ぷらっとバス利用実績等

年度	利用者数	1便あたり	委託料	備考
14	6,040人	1.0人	12,385千円	4路線4便、16便/日
15	17,136人	2.3人	14,110千円	4路線5便、20便/日
16	18,164人	2.5人	15,825千円	〃
17	19,053人	2.6人	14,719千円	〃
18	22,069人	3.0人	14,398千円	〃
19	21,304人	2.9人	15,117千円	〃

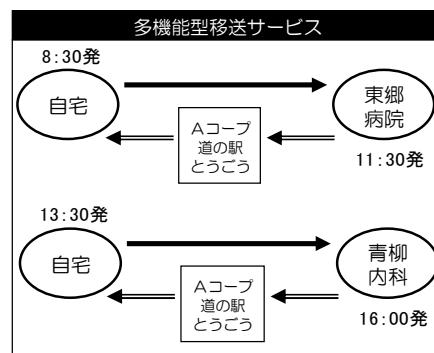
(3) 多機能型移送サービス（東郷町域）

平成19年度からの試験運行として、日向市社会福祉協議会東郷支所がタクシー事業者へ委託し、タクシー業者が所有するジャンボタクシーを使って、多機能型移送サービス（乗合タクシー）を実施しています。

現在は、東郷病院と青柳内科に通院にする1人暮らし等の高齢者を対象に、月2回の利用に限定されており、一般利用者への拡充や安定した運行に向けた財政的な支援が求められています。

【多機能型移送サービス概要】

- 運行形態** 日向市社会福祉協議会東郷支所がタクシー事業者へ委託し、巡回コースごとに定められた日に、対象者の居宅と東郷町内の医療機関（東郷病院・青柳内科）、ショッピングセンターとの間を移送して実施
- 利用対象者** 東郷町内（寺迫地区を除く）に居住する概ね65歳以上の高齢者
- 利用方法** 事前に申請書を社協の東郷支所へ提出し登録する。利用日は、医療機関で調整する。
- 利用回数** 一人につき月2回以内
- 運賃** 1乗車200円
- 車両** ジャンボタクシー 1台



●利用実績等

□登録者数 10地区 215人（平成20年6月末）

□平成19～20年度利用者数（東郷病院、青柳内科）

平成19年度			平成20年度		
	運行日数	利用者数		運行日数	利用者数
4月	2	26	4月	23	253
5月	10	75	5月	22	240
6月	10	135	6月	19	183
7月	16	217	7月		
8月	19	205	8月		
9月	18	203	9月		
10月	23	251	10月		
11月	21	239	11月		
12月	20	211	12月		
1月	19	232	1月		
2月	18	220	2月		
3月	18	220	3月		
計	194	2,234	計	64	676

3. 公共交通体系の基本的な方針

「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針」や日向市市民バス検討委員会の「日向市における新しい交通システム導入に関する提言書」を踏まえ、以下の事項を基本方針とします。

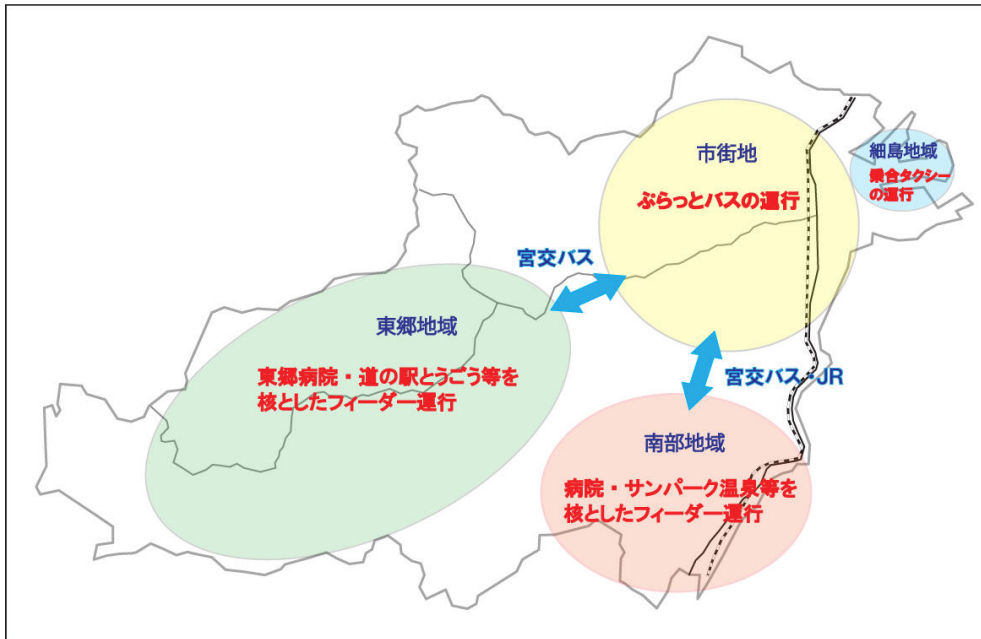
- 安全、安心で利用しやすい公共交通サービスの提供
- 交通空白地域、交通不便地域の解消、各地域から市街地への移動手段の確保
- 高齢者、障がい者、学生など自ら交通手段を持たない方への生活交通手段の確保

4. 地域公共交通総合連携計画の区域

この計画の区域は、日向市全域とします。

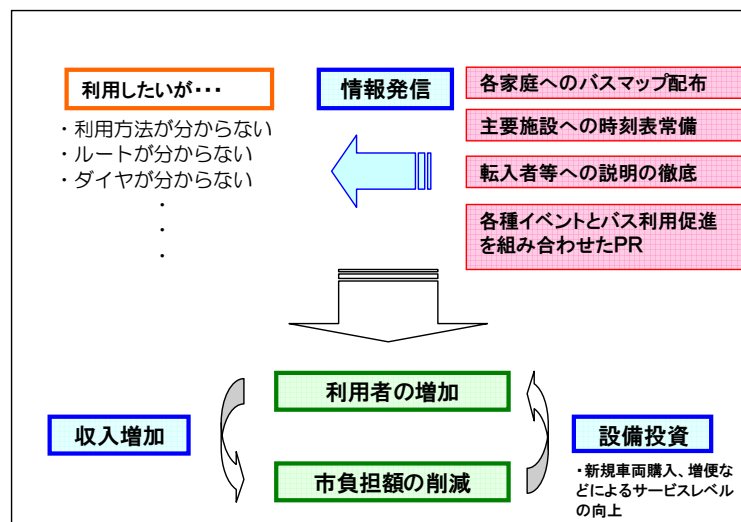
5. 地域公共交通総合連携計画の目標

- 日向市の地域公共交通については、市内を市街地・東郷地域・南部地域・細島地域に区分し、地域の実情に応じた交通体系を構築します。地域間のアクセスは、宮崎交通の路線バスやJRと連携し、市民にとって「便利」で「わかりやすい」地域公共交通機関として再編します。



■日向市の交通体系

- 新しい公共交通システムの利用促進については、様々な機会を通して積極的にPRに取組みます。また、市民のニーズを的確に把握するとともに、迅速に運営に反映させていくことが重要であり、導入後についても市民やバス利用者等が参加する検討機関を設置します。



■PRにより期待できる効果(イメージ)

6. 事業の概要及び事業の実施主体

(1) 市街地：コミュニティバスの運行

【実施主体：日向市、バス・タクシー事業者（今後、競争入札等により選定。）】

現在運行しているぷらっとバスの運行ルート、運行日、運行方法、運行車両等の見直しを行い、平成 21 年 4 月から新しいコミュニティバスの運行を行ないます。バス車両を 2 台購入し、運行については、バス・タクシー事業者に委託します。

①運行形態

■道路運送法 78 条の規定に基づく市町村有償運送とし、運行を市内に営業所を持つバス・タクシー等の一般旅客自動車運送事業者に委託します。

②ルート

■別紙路線図のとおり、基本的に現行の東西南北 4 路線のルートを継承し一部ルートの見直しを行い、日向市駅東口発着、東西南北 8 路線の運行を行ないます。
■一路線 30 分の運行とします。

【主なルート】

東路線① 駅東口⇒鶴町⇒江良町⇒ロックタウン日向⇒浜町⇒櫛の山⇒原町⇒駅東口

東路線② 駅東口⇒鶴町⇒江良町⇒ロックタウン日向⇒畑浦⇒塩田⇒鶴町⇒駅東口

西路線① 駅東口⇒グリーントップ⇒権現原⇒小原⇒権現原⇒比良⇒市役所⇒駅東口

西路線② 駅東口⇒西草葉⇒本谷⇒西川内⇒中村⇒新財市⇒市役所⇒駅東口

南路線① 駅東口⇒長江団地⇒サウスタウン日向⇒往還⇒比良⇒市役所⇒駅東口

南路線② 駅東口⇒市役所⇒比良⇒秋留⇒向洋台⇒松原⇒沖町⇒山下⇒駅東口

北路線① 駅東口⇒市役所⇒図書館⇒西草葉⇒花ヶ丘⇒迎洋園⇒亀崎⇒北町⇒駅東口

北路線② 駅東口⇒向江町⇒大王谷⇒梶木⇒メルクス⇒亀崎⇒向江町⇒駅東口

③バス停

■利用者にわかりやすい、施設、病院、事業所名等に変更します。
■路線図を記載するなど市民が利用しやすいよう工夫を行ないます。
■収支改善のため、バス停の名称を公募や協賛金制度を検討します。

④運行日・運行時間等について

- 利用状況を考慮し、現在の365日運行から、日曜・祝日及び12月30日から1月3日の年末年始については運休します。
- 路線バスやJRとの接続や通勤への利用等を考慮し、運行便数を1路線6便に増便し、運行時間を7時15分～19時15分に延長します。

⑤運行方式

- 右回り・左回りの運行から、一方回りに変更します。
- 郊外地区ではフリー乗車区間を設けます。

⑥運賃について

- 1乗車200円とします。
- 現行の「障がい者割引」「乗り換え乗車券」に加え、「1日乗車券」「定期券」について検討します。

⑦車両について

- 37人乗り路線バス対応型のリフト付車両2台を新たに導入します。
- バスのイラスト等については、市民に親しみやすく、シンプルなものとします。

⑧名称等について

- 「ぷらっとバス」の名称を継続します。

(2) 東郷地域、南部地域、細島地域：乗合タクシーの運行

【実施主体：日向市、バス・タクシー事業者（今後、競争入札等により選定。）】

東郷地域については、日向市社会福祉協議会東郷支所が実施している多機能型移送サービスを引き継ぐ形で拡充し、各地区と東郷病院・道の駅とうごうを結んだ5路線について、週2往復の乗合タクシー（乗合バス）の運行を行います。

南部地域については、宮崎交通が運行している路線バス「ロックタウン日向～橋の元～峠線」を廃止し、各地区と三股病院・日向サンパーク温泉を結ぶ3路線について、週2往復の乗合タクシーの運行を行います。

細島地域については、高台地区である宮の上、高々谷、地蔵の各地区とロックタウン日向を結ぶ路線について、週2往復の乗合タクシーの運行を行います。

①運行形態

■道路運送法 78 条の規定に基づく市町村有償運送とし、運行を市内に営業所を持つバス・タクシー等の一般旅客自動車運送事業者に委託します。

②ルート

■別紙路線図のとおり、各地域と病院、公共施設、商業施設等を結び市民の利用しやすいルートとします。

《東郷地域の主なルート》

- 福瀬～小野田～東郷病院～自治センター～道の駅とうごう
- 田野～羽坂～道の駅とうごう～自治センター～東郷病院
- 迫野内～八重原～鶴野内（道の駅）～自治センター～東郷病院
- 坪谷～仲深～道の駅とうごう～自治センター～東郷病院
- 越表～坪谷～仲深～道の駅とうごう～自治センター～東郷病院

《南部地域の主なルート》

- 峠～寺迫～美々津駅～三股病院～日向サンパーク温泉
- 長崎～田の原～鳥川～三股病院～美々津駅～日向サンパーク温泉
- 鶴毛～粉木～南日向駅～日向サンパーク温泉

《細島地域の主なルート》

- 高々谷～宮の上～地蔵～ロックタウン日向

③運行便数・運行時間

■週 2 日（2 往復）の運行とします。

④運行方式

■効率性や経済性を考慮し、予約制（デマンド方式）での運行とします。

⑤運賃

■各地域 1 乗車 200 円とします。

⑥車両

■高齢者や障がい者を自宅まで送迎することを考慮し、10 人乗りワゴン車 1 台、15 人乗りワゴン車 1 台を新たに導入します。

7. 計画期間

計画期間は、平成20年10月から平成23年3月までとします。

●全体事業計画の事業スケジュール

事業の名称	平成20年度				平成21年度				平成22年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
コミュニティバス 乗合タクシーの 導入準備			●	→								
コミュニティバス 乗合タクシーの 実証運行					●	→	→	→	→	→	→	→
計画の見直し 利用促進活動									●	→	→	→